

製品名: DR5 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87399**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:49 kDa; Observed MW:40,49 kDa

抗原情報

遺伝子名	DR5
別名	DR5; CD262; KILLER; TRICK2; TRICKB; ZTNFR9; TRAILR2; TRICK2A; TRICK2B; TRAIL-R2; KILLER/DR5
遺伝子 ID	8795
SwissProt ID	O14763
免疫原	ヒト DR5 の合成ペプチド

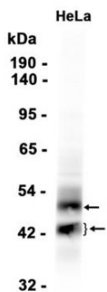
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は TNF 受容体スーパーファミリーに属し、細胞内デスドメインを有する。この受容体は、腫瘍壊死因子関連アポトーシス誘導リガンド (TNFSF10/TRAIL/APO-2L) によって活性化され、アポトーシスシグナルを伝達する。FADD 欠損マウスを用いた研究では、デスドメインを含むアダプタータンパク質である FADD が、このタンパク質を介したアポトーシスに必要であることが示唆されている。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションと、1 つの非コード転写産物が見出されている。[RefSeq 提供、2009 年 3 月]

研究分野

-

画像データ



DR5 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。